

長く付き合いたい...シロギス

小気味良い引きが魅力のシロギス、近場で釣れる初夏の定番魚です。味同様清楚で上品なイメージがありますが、活発な行動タイプで砂泥底の上10cm辺りを群れで滑空しながら餌を探します。口は漏斗状で砂中に潜むゴカイや甲殻類を砂ごと吸い込んで捕食します。砂にカムフラージュしながらジッとたたずんで獲物が通りかかるのを待つメゴチとは少々釣り方が違ってきます。

産卵期は5~10月、冬季を30m以深で過ごした後、産卵のために浅場に寄ってペアリングします。多回産卵魚と言われ水温の高い間は何回でも産卵するので、活性が良くチャンスです。秋になって産卵が終わると再び群れを作り、今度は越冬のため活発に捕食しますので、長期間に渡って釣りが楽しめる、魅力的な魚です。

危険を感じると砂に潜って身を隠すことが多く、また船影を嫌うので気配を消すためになるべく遠投して仕掛けを引きましょう。仕掛けを積極的に動かすのも大事ですが、あまり早いのも問題、努めてゆっくり引きましょう。アタリがあったらすぐに合わせるのではなく、3つ数えてから合わせるのがポイントです。

よくキス釣や沖のアマダイ釣の外道として知られるトラギスはキスの仲間ではなく全くの別種ですが、味はキスに劣らず、型がよければ持ち帰りたい魚です。



今月のおススメ釣魚

【5月休日の潮回り】

3日(金) 9:25満潮(121) 16:42干潮(58)小
4日(土) 11:28満潮(117) 18:05干潮(64)長
5日(日) 7:23干潮(78) 13:10満潮(122)若
6日(月) 8:11干潮(62) 14:20満潮(132)中
12日(日) 11:50干潮(8) 18:41満潮(152)中
19日(日) 12:08満潮(117) 18:12干潮(71)長
26日(日) 11:25干潮(5) 18:19満潮(154)大

【こんな魚が釣れてます】

キスはまだ数は多くないものの、良型が釣れてます。写真左はメゴチ、砂地のうれしいサブライズです。



安全航行しましょう!!

- 始業点検(ガソリン・主機・補機・船体・アンカー)
- 常備品(人数分ライフジャケット・信号紅炎・携帯電話・救命浮環・オール・ラジオ)
- 湾内徐行・漁網避難航行・天候注意・水上バイク注意・釣糸注意

今月のギャラリー



派手な色合いのトラギス



⑤尖っている杉葉



⑥檜葉

今月の出艇数

H25年3月16日~H25年4月15日

39艇

今月の夜間係留数

H25年3月16日~H25年4月15日

4艇

保管場所空き状況

平成25年4月25日現在

1艇

メンテナンスしましょう

近年環境問題からバイク同様船外機も2ストロークエンジンの生産が終了し、4ストロークが主流になりました。4ストの魅力は静かなエンジン音と燃費の良さ、故障しにくいところでしょう。反面、定期的なオイル交換やガソリン管理などメンテナンスを怠ると修理に高い費用がかかります。

2ストは圧倒的なパワーとエキサイティングなエンジン音が魅力ですが、故障しやすく燃費が悪いのが問題です。出航時は専用オイルを満タンに、ガソリンも予備タンクを用意したいものです。

シーズンインを前に燃料フィルターを点検しましょう。結露による水分やサビで目詰まりしたものは清掃・交換が必要です。

海の生物ワンポイント

トラギス【トラギス科】

外道として有名ですが、味は悪くなく、天ぷらや塩焼きなどで食べられます。浅底は目つきの悪いトラギス(写真)が、深底では縞模様で顔が長いクラカケトラギスがよく釣れます。リリースせず持ち帰りましょう。

トピックス

猛威を振ったスギ花粉がようやく納まってきましたが、今度のはヒノキ花粉が飛散しているようです。以前は杉の植生が圧倒的に多かったものの、近年は同等になってきたようで、花粉症の方には頭の痛い話です。檜と杉は似ていますが葉の形が違います。また檜は油分が多くよく燃えるので「火の木」と呼ばれたそうです。

指定管理者からのお知らせ

干満の差が大きい季節です

初夏の陽射しが眩しい5月となりました。紫外線は真夏よりも強いので、出船時は日焼け対策をしましょう。日が長いのでじっくり釣りが出来ますが、透明度は期待できません。魚の習性を研究した釣テクが必要ですね。日中の干満の差が大きい上に海面はアカモクなどの海藻が漂っているので、座礁やプロペラ巻き付け等に充分注意しましょう。海況・釣物・潮情報はお気軽にTELでお問い合わせ下さい。お問合せは ☎ **0120-560982** (コールアキヤロ)

今月の事故

接触等	0	件
主エンジン停止	0	件
ガス欠	0	件